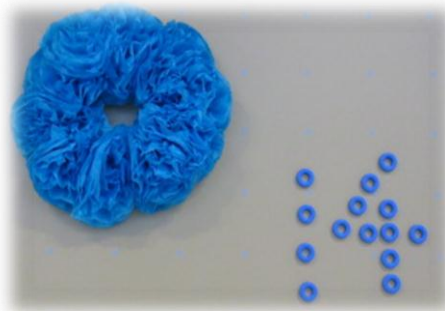


★2017 年度 全国糖尿病週間

今年度の全国糖尿病週間は、11月13日(月)～19日(日)でした。
今年も『ブルーサークル』をイメージしたブルーフラワーを飾りつけ、患者さん・面会の方・職員に意識づけを行いました。ここですべての部署の紹介はできませんが、ご協力ありがとうございました。



★2017 年度 世界糖尿病デー



2017年11月14日、心配していた雨も夕方にはやみ、今年もきれいなブルーライトアップが行えました。例年通り、スタッフの『手作りライトアップ』です。今年度も戸田医療器さんと施設の応援を受け、検査部・外来の糖尿病スタッフが担当しました。

病院建物の一角をブルーにし、救急棟の壁にもきれいな写真を映し出しました。ご覧いただけただでしょうか？

この日は、松山城や、高島屋のくるりんも、ブルーにライトアップされました。



意外と甘いコーヒー、レモンティー、梅昆布茶などが好評でした。やはり、皆さんお疲れなのですね…

昨年から始めたお茶のサービスも好評で、患者さん、面会の方、業者さん、仕事帰りの職員・仕事中のひと休みにと…、沢山の方に利用いただきました。3階病棟・看護療養相談室のスタッフが担当しました。



★2017年度 全国糖尿病週間行事(夜間糖尿病教室・記念行事)

2017年11月16日(木)18:30より、本館2階第1会議室において2017年度 全国糖尿病週間行事(夜間糖尿病教室・記念行事)を行いました。患者さんの参加は16名でした。今回の内容は、

1. 『リリー インスリン 50年賞』 受賞式に参加して
2. ちょっと一息、リラックス体操
3. 「検診は大切、ちゃんと受けてる？」の3部構成で行いました。

今年度は色っぽいメイドさんが司会を行い、会場は終始 笑いと和やかな雰囲気で行いました。さて、この謎の美女は、いったい誰でしょう？



1. 『リリー インスリン 50年賞』 受賞式に参加しては、
50年以上インスリン治療を続けてこられた糖尿病患者の方々を表彰する「リリー インスリン 50年賞」を、当院の患者さん渡部藤枝さんが、めでたく受賞されました。
当院では「第1号受賞者」です。
『リリー インスリン 50年賞』 受賞の感想を、お話しいただきました
渡部さんの受賞は、インスリンは最後の治療ではない！
「必要な時期に早く」インスリン治療を行えば、
ずっとお元気で生活できることの何よりの証明になりました。
インスリン治療を迷っている患者さんを見かけたら、渡部さんのことを思い出して、そっと背中を押してあげましょう！
当院での第2・第3の「インスリン 50年賞」が続くよう祈りたいです。



2. ちょっと一息、リラックス体操

今年は『可愛いメイドさん』が体操を教えてくださいました。

3. 「検診は大切、ちゃんと受けてる？」について

昨年結成した『なでしこ一座』の2回目の公演でした。

2～3分の「寸劇」+約5分の「講義」で検診の大切さを訴え、参加者の皆さんにも検診の大切さを考えていただくシナリオを構成しました。

練習不足はありましたが、**なぜか本番に強い役者ぞろい**で、参加者は寸劇に笑い、講義にしきりにうなずいておられました。

検診の重要性・動脈硬化の怖さを参加者に伝え、「検診を受けること」

「検診結果を放置しないこと(二次検診を受けること)」を呼びかけ

ました。そして、参加者からは、「**検診を受けます**」という感想も

いただきました。質問された方、質問に答えてくださった方には、**宮岡**

院長扮した『なでしこ先生』が、「可愛いちょこちょこ歩き」でキャンディを配ってくれました。会場は終始和やかな雰囲気でした。

場面は3場面

- ① 糖尿病専門クリニックで毎月採血をしているので、検診は必要ない。
- ② 検診で便潜血を指摘されたが「痔がある」ので痔のせい、病院には行かなくてもいい。
- ③ 以前の検診で尿糖指摘されたが今回の検診で「糖尿病ではなかった。よかった。」

2人の会話での疑問点を、3人の先生が解説(講義)を行ないました。

特に「**検診の、2つの大きな落とし穴**」について学習しました。

- ① 検診は早朝空腹時で採血するため、**初期の糖尿病は見逃されてしまうかもしれない**。「時々、食後でも採血」をしましょう。早く発見されるかもしれません。
- ② 動脈硬化は糖尿病になってからではなく、「**境界型**」「**予備軍**」の時から始まっていく。**動脈硬化が合併症を引き起こす。動脈硬化は怖い!** 早期発見・早期治療が大切。
- ③ 「痔があるから便潜血は痔のせい」と考えるのは問題あり。大腸がんの危険性も否定できない。**心配な検診結果を放置せず、二次検査を受けましょう。**



3人の講師



① 宮岡なでしこ先生



② 梅岡なでしこ先生



③ みどり先生





なでしこ一座 全員集合～！！

当院の糖尿病教育のモットーは、『患者さんに勇気と元気を持ち帰っていただく糖尿病教育』です。

患者さんの笑いや「面白かったね」「よかったね」と言いながら帰られる患者さんの後姿を見送りながら、「よし、元気になった」と胸をなでおろした糖尿病スタッフでした。

全国糖尿病週間行事(夜間糖尿病教室・記念行事)のこの日も、きれいなブルーライトアップを行い、患者さんのお出迎え・お見送りを行いました。

来年も楽しい会が提供できますよう、糖尿病スタッフは頑張ります！

お楽しみに！